

## 平成30年度 熊谷市立吉岡中学校学校経営方針

### 1 学校経営の経営理念

はじめに

- 「教育とは流水に字を書くような果てない業である。だがそれを巖壁に刻むような真剣さで取り組まねばならぬ。」(森信三)
- 4つの ch～ピンチをチャンスに変える発想～
  - 「pinch」 新たな困難が訪れたとき
  - 「change」 気持ちを切り替え
  - 「challenge」 挑戦すると
  - 「chance」 チャンスがやってくる

### 2 学校教育目標

「確かな学力を身に付け、心豊かなたくましい生徒の育成」

～目指す生徒像～

- よく学ぶ生徒
- 心豊かな生徒
- 健康でたくましい生徒

### 3 目指す学校像

〔 大志にいどみ 希望を燃やす 生徒と教師  
～誠実てらす吉岡中学校～ 〕

### 4 目指す教師像

- 教師としての三段階

第一段階は、生徒一人一人を一つの生きた魂として抱くこと。

第二段階は、受け持つ子供たちの一人一人を、親の身としてかけがえのない子だと痛感すること。

第三段階は、目前の子供がやがて日本人の一員として、世のため人のために生きていく日本の、地域の宝であることを心得ること。

- 「笑顔」と「誠実」と「信頼」そして「健康」

心の正しさを笑顔で表し、誠実な心をもって務め、信頼に応えなければならない。

そして、何より心身ともに健康でなければならない。

### 5 経営方針

熊谷市の学力向上対策を推進し、「学力日本一」目指すことを受け、さらに学校教育の不易なもの（確かな学力を身に付けさせること、心豊かな人間、心身共にたくましい人間を育てること）を踏まえ、学校教育目標の具現化を目指し、生徒に愛され地域や保護者にも信頼される魅力ある学校づくりを、明朗な雰囲気のもと教職員の誠実な取り組みで共通理解・共通行動で進める。

(1) 主体的・対話的で深い学びに取り組み、確かな学力の定着・向上を目指す。

- ・「授業で勝負する」ことを基本とし、わかる授業、学ぶ喜びを味わわせる授業づくりを創意工夫する。

- ・研修を通し、生徒、保護者、地域から一層信頼されるよう資質の向上を図る。

(2) 体験活動を一層充実し、心豊かな人づくりを目指す。

- ・体験活動の中で自己指導能力を高めるよう、自ら動く意志決定場面を創出する。

- ・いじめや不登校の解消を目指して、組織的、継続的な取り組みを改善・充実する。
  - ・インクルーシブ教育を推進する。
- (3) 「開かれた学校づくり」を一層推進し、より信頼される学校づくりを目指す。
- ・小中連携を軸にした地域に根ざした学校づくりを推進する。
  - ・各種たよりやホームページ等を通して学校の今を発信する。
- (4) 創意と工夫に満ちた、明るく、活力のある職場づくりを目指す。
- ・一人一人の創意と努力の集結が、学校に活力を生むことを自覚し、かけがえのない一人として「やり甲斐」をもって学校経営へ参画する。
  - ・報告、連絡、相談、見届けを確実にし、風通しのよい「健康で開かれた」職場づくりを一層推進する。

## 6 教育方針

- (1) 生徒が主役となって活動している学校
- (2) すべての生徒が誠実に取り組んでいる学校
- (3) 安全で安心できる環境の学校
- (4) 保護者や地域社会から信頼される学校
- (5) 教職員が生きがいをもって活動している学校

## 7 教育指導の重点

- (1) 基礎的・基本的内容の指導を徹底し、学力の向上を図る。
- (2) 自尊感情を高める指導を展開し、コミュニケーション能力の向上を図る。
- (3) 小中連携を密にし、生徒に届く関わりで不登校・いじめ等の解消を図る。
- (4) 「熊谷の子どもたちは、これができます！」の推進を図る。

## 8 学校教育目標具現化の手立て

テーマ「誠実」

- (1) よく学ぶ生徒
  - ・授業規律の徹底（誠実な態度）
  - ・基礎・基本の定着（授業、補習、家庭学習等）
  - ・ねらいを明確にした授業の展開
  - ・言語活動の充実
- (2) 心豊かな生徒
  - ・誠実に動く意識の徹底（生徒会・清掃活動）
  - ・時を守り、場を清める
  - ・スキル教育の充実
  - ・いのちの教育、心の教育の推進
  - ・いじめ撲滅運動の推進
  - ・インクルーシブ教育の推進
- (3) 健康でたくましい生徒
  - ・体力向上の推進（自らの課題を明確にして誠実に取り組む）
  - ・健康教育と食育の推進
  - ・主体的な部活動の展開
  - ・安全行動の習慣化と事故防止の徹底
  - ・地震、竜巻等の自然災害や不審者対策の取組（緊急地震速報の活用、引渡し訓練）